



杉並区立小中一貫教育校

杉並和泉学園

新泉和泉小学校 / 和泉中学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/izumigakuen/>



令和5年5月1日
学園だより No.90
学園長 松浦 素明

「書くこと」をどうする？

小学部副学園長 吉田 健二

文章を書くことは子どもの頃からあまり得意ではありませんでした。「読書感想文を原稿用紙3枚書きましょう。」などと先生に言われると、必死になって原稿用紙のマスを埋めているうちに、本から得られた読後感は、ありきたりの感想に置き換えられてしまっていたように思い出されます。言葉が溢れ出てくるようにすらすらと文章が書けたら、どんなに素晴らしいことだろう。大人になった今も、苦勞することが多くあります。

一方で、本を読むことは大好きでした。ジャンルに関係なくいろいろな本を読みました。社会人になって暫くの間は、小説家の司馬遼太郎さんの作品を手当たり次第に読み漁りました。読み終えた本は、気に入った場面や登場人物の言葉にサイドラインを引いたり、付箋をいっぱい付けたりした状態で、今も自宅の本棚に並んでいます。定年になったら再び手に取り、読み返すつもりです。20代の自分がどんな場面や言葉に心を躍らせたのか、振り返るのを楽しみにしています。

その司馬遼太郎さんが、今から34年前に小学校六年生の国語の教科書に書き下ろした「二十一世紀に生きる君たちへ」という随筆文があります。

もし、「未来」という街角で、私が君たちを呼び止めることができたなら、どんなにいいだろう。「田中くん、ちょっといかがいますが、あなたが今歩いている、二十一世紀とは、どんな世の中でしょう。」そのように質問して、君たちに教えてもらいたいのだが、ただ残念にも、その「未来」という街角には、私はもういない。

呼びかけられた当時6年生の「田中くん」は、今46歳になっています。田中くんが、今がどんな世の中だと説明するか、それを聞いた司馬さんがどんな反応をされるかを考えてみると楽しく思えます。

最近、田中くんに代わって私から司馬さんに伝えたいことができました。それは、「Chat GPT」など

対話型の生成AI（人工知能）が、まるで人間のよう自然な対話で質問に答えてくれることです。「江戸幕府の5代将軍は誰ですか？」といった単純な知識を問う質問だけでなく、「20世紀と21世紀では何が違いますか？」など、あらゆる質問に言葉が溢れ出てくるように答えてくれます。昨年11月に公開されたばかりにも関わらず、圧倒的なパフォーマンスに人々が驚き、今後勉強や仕事で生成AIの助けを借りる人が多く出てくると思われています。文章を書く専門家の司馬さんも、これにはさぞかし驚かれることだろうと思っていたところ、先ほど紹介した随筆文の後半に、返答かと思われる文章が書かれていました。

二十一世紀にあっては、科学と技術がもっと発達するだろう。科学・技術が、洪水のように人間を飲み込んでしまってはならない。川の水を正しく流すように、君たちのしっかりした自己が、科学と技術を支配し、良い方向に持って行ってほしいのである。

囲みは引用 「二十一世紀を生きる君たちへ」 司馬遼太郎
(平成元年「小学校国語六年下」大阪書籍)

新年度、1年生から9年生の各教室で学習がスタートしました。国語の時間を中心に、各教科・領域において全ての学習の基盤となる言語活動に取り組んでいます。AI（人工知能）の中で開発が進んでいない分野は、人間の感情や感性、感覚、直観の部分だと言われています。杉並和泉学園の教育目標の重点目標は「Communicate（豊かにかかわる）」です。自分の頭で考えたこと、感じたこと、思いや気持ちを、自分の言葉や文章で表現し、友達に伝え合おうとする児童・生徒を育てていこうと考えています。変化の激しい社会の中で、未来を担う子どもたちのしあわせを願って、これからも益々大切になるであろう「書くこと」の学習に取り組んでいきます。

小学部

生活目標
きまりを守ろう
安全目標
休み時間の遊び方と
場所の確認をしよう

中学部

生活目標
きまりを守って生活しよう
安全目標
施設・設備の安全な
使用法を実践しよう

小中共通

保健目標
健康な体をつくろう
給食目標
朝ごはんを食べよう



日	曜	予定		日	曜	予定	
		小学部	中学部			小学部	中学部
1	月	学年朝会 交通安全教室(1年)	いのちの教育月開始	17	水		
2	火	安全指導 離任式(5校時)	離任式(6校時) 尿検査一次配付	18	木	耳鼻科検診(仲. 2・4・6年)	心臓検診(7年)
3	水	憲法記念日		19	金	東京都学力向上調査(5年)	内科検診(A. 9年)
4	木	みどりの日		20	土		
5	金	こどもの日		21	日		
6	土			22	月	学年朝会 放課後パワーアップ教室	中学朝会
7	日			23	火	遠足(1年) プラネタリウム(4年) CS会議	運動会予行
8	月	全校集会(運動会スローガン発表) 委員会		24	水	心臓検診(1年) 自転車安全利用実技講習会(4年)	
9	火		区特定課題調査(9年)	25	木	内科検診(仲. 1・3年)	尿検査二次
10	水	4時間授業 区特定課題調査(6年)	専門委員会	26	金	尿検査二次配付日	運動会前日準備
11	木	耳鼻科検診(1・3・5年) 尿検査一次配付日	内科検診(側わん) 全国学力調査「話すこと」(9年)	27	土	土曜授業(5時間授業・給食あり) 短縮時程(公開なし)	運動会
12	金	尿検査一次回収日	5時間授業 部活動保護者会	28	日		
13	土			29	月	振替休業日	
14	日			30	火	尿検査二次回収日	運動会予備日
15	月	避難訓練 小学朝会 クラブ 1年生5時間授業始 生徒朝会 教育実習始		31	水	4時間授業	移動教室説明会(A)
16	火	遠足(2年)	東京都学力向上調査(9年)				

1年生を迎える会(小学部)

4月14日(金)に1年生を迎える会がありました。天候にも恵まれ、杉並和泉学園の仲間にも見守られ、1年生は6年生と手をつなぎながら元気よく花のアーチを通して入場しました。他学年からの言葉のプレゼントや学校クイズなどを楽しみました。1年生もお礼の言葉をしっかりと言い、とても立派でした。温かな雰囲気の中で杉並和泉学園の仲間入りをすることができました。

生徒会オリエンテーション(中学部)

4月10日(月)に生徒会オリエンテーションが行われました。新入生に対して中学部の生活のきまりや委員会、部活動等について説明をしました。後半には部活動ごとに活動の様子を説明したり実演したりしました。これから自分がどんな委員会で仕事をしていきたいか、またどの部活動に所属し力をつけていきたいかを考え、中学校生活をより充実したものにしていきたいと思います。

学校支援本部コーナー ～和泉手習い塾編～

村山 道彦

5類引き下げに向けての緩和措置は、新年度を迎えた学園に笑顔と笑い声を届けてくれました。新しい担任の先生を見つめる大きな瞳が宿る満面の笑み、養生を終えた新緑の芝生の上を駆け回る小さな四肢と響く歓声。春風なびく学園が、なお一層の輝きで溢れています。

学校支援本部は、地域で学校現場の様々な面を支えるボランティア団体です。学校-地域コーディネーターとサポーターで構成されています。人材不足など、まだまだ課題を抱えています。広報誌やホームページでサポートの様子などをご覧になって頂くとともに、参加・ご協力をお願い致します。

さて本年度は、各学年の校外学習などが、年度明け早々に目白押し。サポーターさん達を含め、おおいに忙しく活動しています。わたくし担当の手習い塾でも、学生サポーターさん達が増えはじめ、教室に活気が戻ってきました。昨年度からの新企画「漢検体験」も好評となり、更に磨きをかけて、より良い活動にしていまいます。初日を迎えた先日は、初めて参加する少し緊張気味の5年生が多くいました。次第に集中力が高まり、机上に向かう真剣な眼差しが、毎回心に響きます。

学校運営協議会コーナー

学校運営協議会会長 坂野 慎二

令和5年度が始まりました。コロナの位置づけ変更によって、5月8日以降は通常での学校生活となります。今年度の学校運営協議会(通称「CS」)は、通常を意識して活動していきたいと思います。とりわけ、杉並和泉学園を中心とした人の「和(輪)」を充実していきたいと思っています。学園の良い所を確認するとともに、課題を共有し、解決に向けてのお手伝いを目指していきます。すでに4月には教職員、PTAの役員の方々と新たな出会いがありました。教職員の「共感カフェ」は8月下旬の予定です。また、児童生徒の皆さんとも対話する機会を考えています。保護者さんとの「共感カフェ」は7月22日(土)に予定しています。「共感カフェ」以外でも皆様の感じていることを、気軽にCS委員にお話ください。教員とは違った、緩やかな立場で学校と関わって参ります。本年度もよろしくお願い致します。

<https://shinsen-izumi.sakura.ne.jp/>
お問い合わせ info@shinsen-izumi.sakura.ne.jp



学校運営協議会についての詳細は、こちらのQRコード(学園HP内)からご確認できます。

